

## 教師が使う I C T 研修 8 (2 部)

### タブレットを使って

やまぐち総合教育支援センター

教師が使う I C T

◆準備として以下のことを事前に連絡しておいてください◆

- ① タブレットの活用場面(教科書をカメラで撮る、動きをビデオで撮る、手元をビデオで撮る等)を考えるので、教科書等が必要な場合は用意しておく。
- ② 2～3人のグループを事前につくっておく。(同学年、隣学年等)

教師が使うICT研修8「タブレットを使って」というテーマで、タブレットの活用場面を考えていきます。

(★)

## 研修のゴール

**実際にタブレットを操作しながら、  
授業での活用場面を考え、紹介  
し合う。**

今日の研修のゴールは、「実際にタブレットを操作しながら、授業での活用場面を考え、紹介し合う。」です。

(★)

## 1. タブレット端末の活用キーワード

すぐに教材化できる

II

即時性

拡大提示



動きの再現



手元の演示



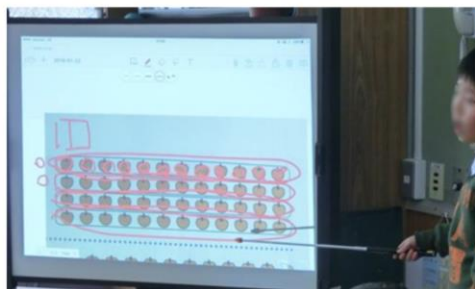
やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

1部では、タブレットですぐに教材化できるという即時性について研修しました。  
教材化する際のキーワードとしては三つ。  
まず、「拡大提示」、次に「動きの再現」、最後に「手元の演示」でした。  
(★)

## 拡大提示

### 「カメラ」で撮影



やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

まず、拡大提示です。  
カメラで教科書や子どものノート等を撮り、それをスクリーンに投影し、焦点化、共有化を図る方法です。  
(★)

## 動きの再現

「ビデオ」で撮影



やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

次に動きの再現です。  
ビデオで子どもたちの動きを撮り、それをタブレット上やスクリーン上で再現する方法です。  
(★)

## 手元の演示

### 手元を「ビデオ」で撮影



やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

最後に手元をビデオで撮影し、それをスクリーンに投影しながら演示する方法です。  
この場合、タブレットを台の上に載せて撮影します。  
それでは、この三つの方法に焦点を当て、実際に活用場面を考えてみましょう。  
(★)

# 今日の研修の流れ

- 1、グループで活用場面を考える。
- 2、全体に紹介し合う。

これから、このような流れで研修を進めていきますのでよろしくお願いします。  
(★)

# 1、活用方法を考えましょう。(20分)

## ①いつ

(導入で、活動に入る前に、まとめで、振り返りに 等)

## ②どのように

(教材文の拡大、写真の一部を提示、撮った動きを再現、縫い方の演示 等)

## ③何のために

(興味関心を喚起する、課題を共有させる、動きのポイントを把握させる 等)



やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

まず、各グループでタブレットの活用場面を考えます。その際は、

①いつ

②どのように

③何のために

タブレットを活用するのかを念頭に置き、実演できるようにしてください。

時間は20分です。

(★)



## 2、紹介しましょう。(10分)

### ①いつ

(導入で、活動に入る前に、まとめで、振り返りに 等)

### ②どのように

(教材文の拡大、写真の一部を提示、撮った動きを再現、縫い方の演示 等)

### ③何のために

(興味関心を喚起する、課題を共有させる、動きのポイントを把握させる 等)

では、各グループで考えた活用場面を全体に紹介してください。

紹介する際は、先ほど念頭に置いて、

①いつ

②どのように

③何のために

タブレットを活用するのかを述べながら紹介してください。

発表時間は全体で10分です。

1グループ〇分で、できるだけ短くまとめて発表してください。

(★)

#### 4. タブレットの特性



汎用性が高い

目的達成のためのツール

やまぐち総合教育支援センター

教師が使うICT

1部でも紹介しましたが、

(★) 様々な機能をもつタブレットは汎用性が高いツールです。

(★) しかし、忘れてはならないのが、タブレット使用が目的ではありません。

目的達成のためのツールとして、使用場面、使用方法が適切かどうか留意する必要があります。

(★)